



榎 隆司 議員

健康社会をめざして

まちづくり協議会について

問協議会の位置づけと今後の展開について考えは。

答まちづくり協議会の取り組みは、地域内の団体等の連携を強化し、行政も積極的に支援することで地域共助の力を高め、地域課題の解決を促進し、地域、さらには自治体の持続可能性を高めようとする地方自治の新たな試みである。

とする市の関わりについてはまちづくり協議会、市民、議会等からの意見を踏まえ必要な見直しを行っていく。

原山合併記念公園について

問「人・交流・つどう」をコンセプトに開設した原山合併記念公園を、もっと人が集えるものとするために「パークゴルフ」のコースを造っては。

答公認のパークゴルフコースを整備する計画はない。ただし、隣接する民有地を活用して民間事業として整備が行われる場合には、内容にもよるが連携して活用を図ることは検討できるものと考えている。



地域振興に向けた新たな施策について

問地域通貨を導入しては。

答可児市や他地域で実施されている地域通貨事業を参考にしながら引き続き研究していく。

問健康維持のためのポイント制を導入しては。

答ポイント制は、健康づくりへの動機づけのための手段であると考えている。市民の健康に関する意識を高めるため、ポイント制が有効な手法となりえるかどうか、費用対効果も含め、検討を進めていく。



今井 武男 議員

本市の農業政策は

TPP大筋合意について

問TPP合意による本市への影響と対応は。

答影響は多岐に渡ると考えられるが、影響が大きいと考えられる農業関連については、国が講ずる対策を見極めながら有効な対策を講じていきたい。

問主要品目のトマト、ホウレンソウへの影響は。

答現在、関税は3%で、TPP発効後は即時撤廃となる。輸入品の流通量から見て影響は少ないと考える。

飛騨牛について
問飛騨牛輸出環境整備の現状は。
答飛騨食肉センターは、国際的な食品の安全な

取り扱い手法であるハサップに対応した施設である。ISO認証や、国内で4番目にEU輸出認証も得ている。

問飛騨牛の増頭に向けた施設整備の考えは。

答国では「畜産再興プラン」を策定し繁殖雌牛の増頭対策を進めており、県でも飛騨牛振興に乗り出す。市としては、個人の牛舎整備や優良雌牛導入への助成、貸付制度を継続するとともに大型牛舎の建設、運営について前向きに協議を進めたい。

農業委員会法改正について

問法改正による選出方法の変更は。

答これまでは選挙であったが、今度は市長の任命になる。委員の

美味いお米・食味コンクールについて

問第1回飛騨の美味いお米・食味コンクールの結果と成果は。

答10月25日に開催したコンクールでは、出品された米の食味値の平均が170点と非常に高く、おいしさを再認識した。今後は、コンクールを継続し、飛騨地域全体でブランド化を図っていく。



飛騨の美味しいお米・食味コンクール